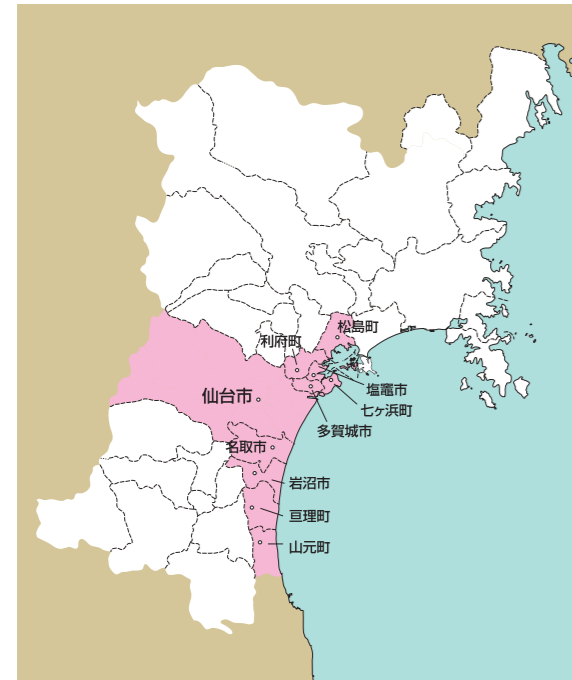


仙台沿岸エリア

仙台市 塩竈市 名取市 多賀城市 岩沼市
亶理町 山元町 松島町 七ヶ浜町 利府町



宮城県のほぼ中央に位置する仙台エリアのうち、沿岸部の市町は、仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町の5市5町で構成されています。

岩沼市では、平成28年4月に仮設住宅の閉所式が開催され、県内で最も早く市内の仮設住宅が解消されることとなりました。また、7月には仙台市で、市内最後の災害公営住宅が完成し、入居が始まりました。10月には、山元町の「つばめの杜地区」と「新坂元駅周辺地区」でまちびらきが行われ、12月には多賀城市で市内4カ所に整備を進めていた災害公営住宅が全戸完成するなど、被災された方々が新たな生活をスタートさせています。

インフラの整備も着々と進められており、平成28年3月には「三陸沿岸道」の仙塩道路が4車線化し、多賀城ICが開通しました。4月には塩竈市海岸通地区に、津波から市民と観光客を守る「津波避難デッキ」が完成。12月には、JR常磐線相馬(福島県)～浜吉田(亶理町)間が運行を再開し、5年9ヵ月ぶりに県内すべての鉄路が開通しました。

□仙台沿岸エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	3,395人	10,558人
行方不明者	90人	1,232人
全壊	41,546棟	83,001棟
半壊	124,923棟	155,129棟

(平成29年2月28日現在)

□応急仮設住宅入居者数

	平成24年4月	平成29年2月
プレハブ住宅	14,382人	946人
民間賃貸借上住宅	37,861人	3,157人
計	52,243人	4,103人

(平成29年2月28日現在)

□災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成28年2月	平成29年2月
計画戸数	6,312戸	6,283戸
着手戸数	6,214戸	6,192戸
完了戸数	4,653戸	5,636戸

(平成29年2月28日現在)



つばめの杜地区(山元町)



J R 常磐線の一番列車に手を振る住民の方々(亶理町・山元町)

仙台沿岸の定点観測

マリゲート塩釜周辺

平成28年4月、マリゲート塩釜とJR本塩釜駅に隣接した大型商業施設をつなく、津波避難デッキが完成しました。



七ヶ浜町吉田花淵港周辺

平成28年2月に県内初の海の駅「松島湾海鮮市場 七(しち)のや」が開業し、現在、花淵地区被災市街地復興土地区画整理事業により商業拠点を整備中です。



亶理町荒浜地区

被災した水産加工店や居酒屋が入店する「にぎわい回廊商店街」や産地直売施設などが入店する「きずなぼーとわたり」が完成し、にぎわいを取り戻しつつあります。



山元町新坂元駅

平成28年10月にまちびらきが開催され、新しい街へ一歩踏み出しました。

